

## 小学校給食費無料化の実施について

### 1. 概要

三田市では、令和8年度より全ての市立小学校において給食費を完全無料化します。これにより、令和7年度から実施している中学校と合わせ、義務教育9年間の給食費が「完全無料」となります。三田市は独自の財源活用により、質の高い給食を負担なしで提供し、子育て世代に選ばれるまちづくりを進めます。

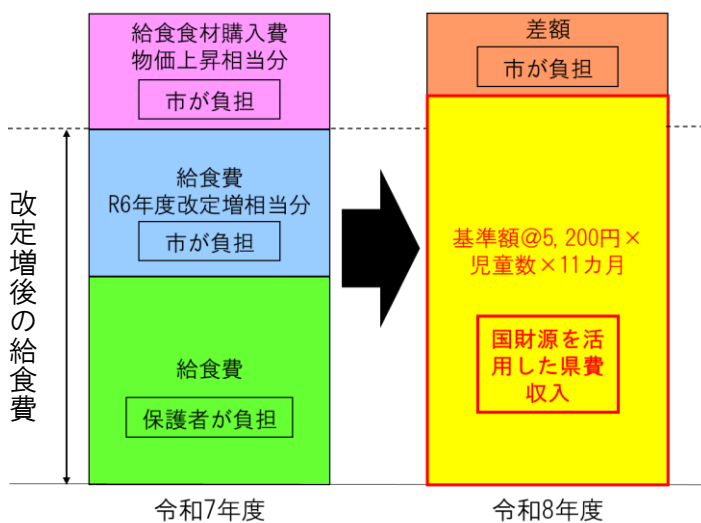
### 2. 小学校給食費無料化の内容

- 実施時期：令和8年4月より
- 対象：市立小学校（20校5,367名）及び特別支援学校小学部（1校5名）の全児童
- 保護者負担：ゼロ

### 3. 財源内訳

国の新たな支援制度を最大限に活用しつつ、不足分を三田市独自の「ありがとう!三田っ子応援基金」を活用します。

財源区分	金額	内容
国財源（補助金）	3億796万円	国の自治体支援枠を活用
市財源（ふるさと納税）	3,019万円	ふるさと納税寄附金を原資とした基金
合計（事業費）	3億3,815万円	全児童の給食費を公費負担



#### 財源構成と保護者負担の推移

##### 【令和7年度】

- 給食費の設定（条例額）：物価高騰の影響により、月額4,570円（令和6年度に3,900円から改定）。
- 保護者負担の抑制：改定による増額分（670円）を市が全額負担。実質の保護者負担は旧料金のまま据え置き。
- 物価高騰対策：食材購入費のさらなる上昇分についても、市が別途予算を投入して支援。

##### 【令和8年度】

- 主財源の切り替え：国の新たな支援制度に基づく「県費収入（児童1人あたり月額5,200円）」を食材購入費の原資として活用
- 市独自の追加支援：質の高い給食（地産地消の推進等）を維持するには国の基準額だけでは不足するため、差額分を市が独自財源で補填。
- 保護者負担額：国の支援と市の追加負担を組み合わせることで、保護者負担は「ゼロ」。

## [参考]

### 三田市の学校給食の特徴

- こだわりの主食と地産地消  
週4回は三田米「どんとこい」の炊きたてご飯を提供。週1回のパンは当日朝焼き・保存料不使用で、母子茶パンや米粉パンなどバリエーションも豊富。
- 天然だしと安全な食材  
煮干し・削り節・昆布の「だし」を使用し、薄味でも深いコクを実現。加工品は添加物やアレルギーを抑えた国産食材を優先し、食の安全を徹底。
- 五感を育む多彩な献立  
1日に必要な栄養量の1/3を確保しつつ、行事食や世界料理、地産地消（黒大豆枝豆、三田うどん、太ねぎ、三田ポーク等）を積極的に推進。三田の恵みを知り、食べる楽しさを学ぶ食育を推進。